

指導のねらい

目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理するために、自分の課題について調べてまとめた文章に書くことができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

- B ① 一 報告文を読み、メモの中に調べた内容の一つめを書く。 正答率11.5%
 B ① 二 報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く。 正答率17.8%

学習指導要領における領域・内容

- 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと
 ア 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。
 イ 全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。
 エ 事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

授業アイデア例

全体を見通し、必要な事柄を整理して調査報告文を書く

- 「6年生は気持ちの良いあいさつをしているか」(例)を課題として設定する。
- 調査したことを報告する文章全体の項立て(下の構成表1~5)を考える。
- 調査の目的・理由を明確にし、調査の内容や方法を決める。

調査の内容や方法(例)

アンケートA <自分自身は、あいさつをしていると思うか> (6年生全員)

- ① 誰に対してあいさつをしているか
 ② どのようなことに気を付けてあいさつをしているか など

アンケートB <他者から見ると、6年生はあいさつをしていると思われるか> (下級生〇名・先生〇名)

- ① 6年生は、あいさつをしているか
 ② 6年生のあいさつについて気付くことはないか など

- 調査の内容や方法に即して、調査した結果をカードに書く。
- 調査を通して分かったことと考えたこととを関係付けて、カードに「まとめ」の下書きをする。
- これまで調査してきた事柄を下の構成表に項目ごとに整理して、全体を見通す。
- 新聞やパンフレットなどの表現するものの特徴に合わせるとともに、右のポイントなどを踏まえて記述する。

【記述するときのポイント】

- 見出しを立てる。
- 調べた結果は、図表やグラフなどを用いて分かりやすく示す。
- 「目的・理由」と「まとめ」とを関係付けて書く。
- 接続語や文末表現に注意する。 など

調査報告文全体を見通す構成表(例)

1 調査すること	6年生は気持ちの良い…
2 調査の目的・理由	最高学年として…
3 調査の内容・方法	アンケートA 6年生は、自分自身は…
	アンケートB 6年生は、他者から見ると…
4 調査の結果	アンケートA ① 先生 87%… ② 自分から…
	アンケートB ① いつもしている 12%… ② 声が小さい…
5 まとめ	自分が思うほど、他者は…